



議会だより

あ い か わ

第 122 号

責任者 議会議長 中山民子
年 4 回発行・本号12ページ



中津川マス釣り場

**期末手当などの凍結に関する条例を可決
議会議員 6 月期末手当を 0.2 月分凍結**

P 2

町営原臼住宅建替工事請負契約を可決

P 2

「肝炎対策のための基本法の制定を求める意見書」を送付

P 3

平成21年 8 月15日

〈 5 月臨時会・6 月定例会 〉

○発行/愛川町議会 編集/議会だより編集委員会 〒243-0392 神奈川県愛甲郡愛川町角田251-1 046-285-6927(直通) 046-285-2111(代表)

提出議案 8 件可決

平成 21 年第 1 回愛川町議会「5 月臨時会」及び第 2 回愛川町議会「6 月定例会」が下表のとおり開催されました。

臨時会では、人事院の臨時勧告に伴う、一般職の 6 月期末勤労手当の一部凍結、議員・特別職の 6 月期末手当の一部凍結など、町長提出議案 4 件を可決・承認しました。定例会では、町長提出議案として補正予算、工事請負契約の締結（2 件）及び議員提出議案として、「肝炎対策のための基本法の制定を求める意見書」の 4 件を可決しました。本号ではこれら「5 月臨時会」及び「6 月定例会」の内容をお知らせいたします。

条例関係

◎愛川町職員の給与に関する条例の一部改正

（賛成 15 人・反対 2 人）
ポイントⅡ人事院の臨時勧告及び国家公務員の平成 21 年 6 月に支給する期末勤労手当の改定の内容に準拠し、一般職の職員に支給予定の 6 月期末勤労手当の額の算定に当たって支給割合の一部を凍結するものです。

◎愛川町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末

手当に関する条例及び愛川町長等常勤の特別職の給与に関する条例の一部改正

（賛成全員）
ポイントⅡ平成 21 年 6 月に支給する一般職の職員の期末勤労手当の改定に準拠し、町議会議員及び常勤特別職の期末手当の一部を凍結するものです。

専決処分

◎専決処分の承認（愛川町税条例の改正）

（賛成全員）



平成 21 年第 1 回臨時会日程

月	日	曜	会 議 名	主 な 内 容
5	29	金	本 会 議	条例及び専決処分の承認の質疑・討論・採決

平成 21 年第 2 回定例会日程

月	日	曜	会 議 名	主 な 内 容
6	2	火	本 会 議	町長提出議案の説明
	4	木	本 会 議	一般質問（6 人）
	5	金	本 会 議	一般質問（5 人）
	9	火	総務建設常任委員会	付託案件の審査 所管事務調査
	10	水	教育民生常任委員会	付託案件の審査 所管事務調査
16	火	本 会 議	提出議案の総括質疑・ 討論・採決 付託案件の審査報告・ 質疑・討論・採決 議員提出議案の説明・ 質疑・討論・採決	

補正予算

◎平成 21 年度一般会計補正予算（第 1 号）

（賛成全員）

ポイントⅡ今回の補正は歳入歳出にそれぞれ 1 千 74 万 2 千円を追加し、歳入歳出予算の総額を 1 億 2 千 5 億 1 千 5 万 7 千 4 百 2 千円

としたものです。

主な内容は、緊急雇用創出特別対策ハイテク研究所団地法面等除草作業経費やハイキングコース管理経費に係るものです。補正額の内容は次頁のとおりです。

工事請負契約締結

◎公共下水道（汚 H 37・1）整備工事

（賛成全員）

請負契約金額 9 千 7 6 5 万円
工事場所

半原地内

請負契約の相手方 鈴木土建株式会社
工期は平成 22 年 3 月 26 日まで。
◎町営原白住宅建替工事（第 1 期）（建築）
（賛成全員）

請負契約金額 8 千 7 1 5 万円
工事場所 半原 3 8 8 9 番地 1
請負契約の相手方 大野建設株式会社
工期は平成 22 年 3 月 25 日まで。

一般会計補正予算（第1号）の内容

歳入

Table with 3 columns: 事業, 金額(千円), 内容. Rows include 商工費県補助金, 民生費寄附金, 繰越金, 雑入, and 合計.

歳出

Table with 3 columns: 事業, 金額(千円), 内容. Rows include 一般管理費, ハートピア基金費, 商工振興費, 観光費, 公園費, 事務局費, 社会教育総務費, and 合計.

介護納付金課税額の限度額の改正

Table with 4 columns: 区分, 改正前, 改正後, 増減. Rows include 基礎課税額の限度額, 後期高齢者支援金等課税額の限度額, 介護納付金課税額の限度額, and 課税限度額の合計.



◎肝炎対策のための基本法の制定を求める意見書 (賛成全員)
議員提出議案として提出され、審議の結果、原案のとおり可決し、次のとおり意見書を関係行政庁に送付しました。

請願・陳情の審査結果 (敬称略)

Table with 3 columns: 件名, 結論, 請願・陳情者. Rows include 陳情第3号, 陳情第4号, and 陳情第5号.

請願・陳情のゆくえ

肝炎対策のための基本法の制定を求める意見書

わが国のウイルス性肝炎の持続感染者は、B型・C型をあわせ350万人以上と推定されており、肝炎は国内最大の感染症と言われている。感染原因の多くは、輸血、血液製剤の投与などの医療行為によるもので、その中には医療行政の誤りを原因とするものも含まれている。B型・C型肝炎は、慢性肝炎から肝硬変、肝臓ガンに移行する危険性の高い深刻な病気である。また、肝硬変、肝臓ガンに進展した患者は、長期の療養に苦しみ、生活基盤を失うなど経済的にも多くの困難に直面している。国においては、肝炎総合対策「肝炎治療7カ年計画」を実施しているが、法令によらず、予算措置のみで実施されていることから、実施主体である都道府県によって施策の格差が生じている。このような状況から、適切なウイルス肝炎対策を全国的規模で推進するためには、肝炎対策に係る基本法の制定が必要である。よって、国においては、次の事項を実現するよう求めるものである。

1 肝炎対策のための基本法を早期に成立させること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成21年6月16日

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・厚生労働大臣 殿

神奈川県愛甲郡愛川町議会 議長 中山民子

※賛成・反対については、委員長報告に対する賛否

会派 議決一覧表（平成21年第1回臨時会）

各会派賛否 ○…賛成、●…反対

議案番号	議案の件名	あいかわ (6人) 成瀬議員 林議員 中山議員 鈴木議員 馬場議員 渡辺議員	愛政 (4人) 小倉議員 熊澤議員 鳥羽議員 熊坂弘久議員	あすか (2人) 山中議員 小島議員	共産 (2人) 井上議員 小林議員	民主みらい (2人) 熊坂徹議員 近藤議員	公明 (2人) 森川議員 井出議員	議決結果
町長提出 第34号	愛川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	●	○	○	可決
町長提出 第35号	愛川町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例及び愛川町長等常勤の特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第36号	専決処分の承認について (愛川町税条例の一部を改正する条例の制定について)	○	○	○	○	○	○	承認
町長提出 第37号	専決処分の承認について (愛川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	○	○	○	●	○	○	承認

会派 議決一覧表（平成21年第2回定例会）

各会派賛否 ○…賛成、●…反対

議案番号	議案の件名	あいかわ (6人) 成瀬議員 林議員 中山議員 鈴木議員 馬場議員 渡辺議員	愛政 (4人) 小倉議員 熊澤議員 鳥羽議員 熊坂弘久議員	あすか (2人) 山中議員 小島議員	共産 (2人) 井上議員 小林議員	民主みらい (2人) 熊坂徹議員 近藤議員	公明 (2人) 森川議員 井出議員	議決結果
議員提出 第4号	肝炎対策のための基本法の制定を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第38号	平成21年度愛川町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第39号	工事請負契約の締結について (平成21年度公共下水道(汚H37・1)整備工事)	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第40号	工事請負契約の締結について (平成21年度町営原白住宅建替工事(第1期)(建築))	○	○	○	○	○	○	可決
陳情 第3号	国・県に私学助成制度の充実を求める意見書の提出を求める陳情	○	○	●	●	●	○	趣旨了承
陳情 第4号	「肝炎対策のための基本法の制定を求める意見書」の採択を求める陳情	○	○	○	○	○	○	採択
陳情 第5号	神奈川県最低賃金改定等についての陳情	○	○	●	●	●	○	趣旨了承

※陳情第3・4・5号は委員長報告に対する賛否



一般質問

町長 あいかわ町民活動
応援事業については、応
募された団体や応援事業
審査会委員のご意見を集
約し、できる限り町民皆
さんが利用しやすい制度
となるよう、見直しも視
野に入れて検討します。

審査会の意見集約 見直しも検討

問 地域力を強化す
る一つの具体策と
して、あいかわ町民活
動応援事業があります
が、見直しの考えにつ
いて伺います。

町民活動応援事業 地域力強化の考え



渡辺 基議員

町長 一人でも多くの来
館者が訪れるようにする
ために、資料館の自主事
業の展開や隣接する工芸
工房村との連携、民間の
観光ツーリズム事業との
連携を検討し、観光客の
誘致に努めます。更に半
原バス停からのアクセス
についても利便性の向上
について検討していきま
す。
他の質問事項①地域活動
情報支援サイト開設につ
いて

観光客誘致に努め 利便性向上の検討

問 本年4月23日に
オープンした郷土
資料館への来館者がす
でに1万人を突破して
います。今後も継続し
て増える工夫につ
いて伺います。

郷土資料館 今後の取り組み

町長 出産や育児休暇
一時的に増大する業務に
対応するため、非正規職
員を雇用するに際し、組
織にとって必要かつ、適
切と思われる人員を配置
し、最少のコストで、最
も効果的な行政サービス
の提供を前提として雇用
しています。

適切な人員配置 効果的なサービス

問 近年、非常勤職員や
臨時職員など非正規
職員の採用が大幅に増えて
きていますが、町の基本的
な考え方を伺います。

非正規職員の採用 基本的な考え方



熊坂 徹議員

問 平成19年4月、
生きがい事業団が
法人化され、新しくシ
ルバー人材センターと
して、スタートしまし
た。これまで会員の拡
大や組織の充実・強化
などに取り組んでいる
と思いますが、今後に
向けた課題について伺
います。

シルバー人材センター 今後に向けた課題

第一に人材の育成 組織運営の効率化

町長 現在受注の大半を
占めている草刈りや植木
の剪定などについては、

講習会などの受講者が少
なく、人材の育成が喫緊
の課題となっています。
また、各企業などに対
して、高齢者の能力に応
じた業務委託への理解と
協力を求めていくことや
組織運営の効率化及び経
費削減を図るための自助
努力なども課題であると
伺っています。町として
も、可能な限りの支援を
していきたいと考えてい
ます。
他の質問事項①国民健康
保険税について



シルバー人材センター

高齢者サロン 行政区ごとの拡充



井上 博明議員

問

ひとり暮らし高齢者などを対象とした高齢者サロンが町内8カ所でボランティアにより事業が行われています。この事業が21行政区で行えるよう町の取組みを伺います。

多彩な活動 社協と連携

町長 在宅高齢者支援グループの皆さんが高齢者サロンとして、交流会、食事会など多彩な活動をしています。今後、多くの地域に広がるよう、町社協と連携し取り組んでいきたいと考えています。

精神障がい者にも医療費助成

問

本町の中度障がい者医療費助成は知的・身体障がい者の方を対象としています。障がい者自立支援法の趣旨から、精神障がい者も対象に加えるべきです。町長の見解を伺います。



桜台なかよし会のみなさん

受給範囲等が課題 近隣の動向見守る

町長 神奈川県が実施している精神障がい者入院

医療介護金など、施策との関係や手帳取得者や自立支援医療受給者などの対象範囲をどうするかといった課題があります。

また、県や町村会を通じて、国へ強く要望し、県内の市町村の動向を、もうしばらく見守っていきたいと考えています。他の質問事項①新型インフルエンザ②学校教育③住民参加のまちづくり

囲碁・将棋により 脳の発育効果



山中 正樹議員

問

今年の名人戦は公募を行い、市長への手紙がきっかけで秋田で開催されました。囲碁・将棋は脳の発育・認知症予防に効果があります。考えを伺います。

起爆剤として認識 団体の活発化促す

町長 文化・芸術は地域経済等の起爆剤として認識しています。誘致施設がない中で、愛好者の増は難しいですが、幅広い層の方々に効果があり、振興団体による活動活発化を促したいと考えます。

新型インフルエンザ 再流行に対する長期的対策

問

メキシコ発 H1N1型の新型インフルエンザが広がっています。秋に再流行する可能性があります。特にワクチンの製造について伺います。

小康期に入ります。ここが第2波に備える時期なので、それまでの各段階における対策の評価・分析を行い、情報収集や予防、発熱外来の設置など行動計画の見直しを行っていきます。

対策の評価・分析 行動計画見直し

町長 流行の波は概ね8週間とされ、第1波が拡大・蔓延する時期をピークとして、以後、次第に

国保医療課長 季節性と新型の両方のワクチン開発という中で、7月ごろから量産態勢に入っていくという厚労省の考え方を掴んでいます。他の質問事項なし



秋田で行われた名人戦のポスター

町長 待機児童の解消は待機児童の推移を見ながら、今後、研究します。障がい児は、4クラブに9人を受け入れています。このうち2クラブで指導員を増員しています。運営委員会は平成20年度に各クラブに設置し、年2回の会議を開き意見交換などを行っています。

運営委員会を設置 年2回の意見交換

問 35人の待機児童の解消と障がい児の受け入れ体制また、運営委員会の機能について伺います。

放課後児童クラブ 待機児童等の解消



近藤 幸子議員

支援体制の構築 関係機関と連携

問 厚木市・愛川町・清川村で、合同設置している自立支援協議会における、今後の特別支援教育と支援教育の取り組みを伺います。

町長 特別支援教育と支援教育に関連する学齢期の援教育に関する学齢期

自立支援協議会の取り組み

の課題について、自立支援協議会の発達支援部会と進路就労支援部会で検討し、さらに、放課後児童クラブ担当、神奈川A等メンバとして、療育と支援体制の構築を図ってきました。また、関係機関と連携・支援し、情報の一元化が出来るよう個別支援ノートの作成に努めています。他の質問なし



菅原児童クラブ

市町村の動向注視 今後の研究課題

問 京都議定書の約束を果たす為、再生可能なエネルギーを積極導入して、太陽光発電やLED等の購入に対して、税の減免や補助金等を活用できないか伺います。

EV車等の購入に 補助金などの助成



小倉 英嗣議員

町長 町では、本年度、電気自動車1台の購入と急速充電器を設置します。税の減免等の助成については、国・県や近隣市町村の動向を注視しながら研究していきます。

糞尿の堆肥化・バイオ燃料化

問 昨年、化成肥料が急騰したことで農家収入が3分の1に減少する等、深刻な状況です。そこで町内にある酪農や養鶏、畜産等の堆肥の活用や、メタンガスを発生させてバイオ燃料としての有効活用ができないか伺います。

糞尿の多くは飼料畑で利用されています。鶏ふんや豚ふんは、町外からの需用も多く夏場を除いて品薄状態のようです。

ご指摘のバイオ燃料で電気や熱への交換が注目されていることから、今後農家の意見を伺いながら研究が必要と考えています。他の質問事項①小中一貫教育②有害鳥獣対策

需要多く品薄状態 燃料化は研究課題



本年度購入予定の電気自動車



裁判員制度について

熊坂 弘久議員

問 本年5月から裁判員制度が始まりました。本町の候補者数と候補者からの相談や啓発活動について伺います。

候補者74名選出 啓発活動に努める

町長 本町からは裁判員候補者として、74名を選出しました。問合わせ先が裁判所であるため、現在、町には相談はありません。本制度の周知・啓発については、法務省等関連機関と連携して説明会や講習会を実施しています。



国登録文化財に登録された山十郎

国登録文化財「山十郎」 PRと駐車場・案内板の対応

問 古民家山十郎が国の登録文化財となりました。PRの見直しや駐車場の対応と案内看板設置の考えについて伺います。

パンフレット作成 看板の設置を検討

町長 PRについては、新たな案内パンフレットの作成に着手しています。駐車場については、1日

当たりの来園者数が9名程度であり、現在、5台の駐車が可能であり、1日当たりの来園者数から推察すると、現在の駐車場に対応ができています。案内看板については、現在ありませんが、車とバスで訪れる方のために設置場所について調査し設置をしていきたいと考えています。他の質問事項①新型インフルエンザについて



母子福祉手当 厚木市並みに増額を

小林 敬子議員

問 厚木市のように、子どもの成長にあわせて、母子福祉手当を増やしてほしいとの声が聞かれますが、町長の考えを伺います。

自治体独自の制度 増額考えていない

町長 本町での母子福祉手当は、児童1人の場合、年額2万円、1人増えるごとに、5千円を加算支給しています。これ以外にも様々な助成制度があることから、増額については、現時点では考えていません。

落ち葉収集で還元事業

問

ごみ置き場に出された落ち葉の収集をシルバー人材センターに委託し腐葉土にするモデル事業を実施し、その腐葉土を誰でも無料で使えるようにすれば、住民への還元事業として注目されると思うが見解を伺います。

たものを住民にお配りすることも一つの考え方の中にありますが、収集体制が整わないと難しいと思います。

今は、鎌倉市なども民間業者が資源化をしていますが、これから本町でも出てくるものと思っています。

他の質問事項①小中学校での食育教育について②三増地域の交通安全対策について

ひとつの考え 体制を整えて

環境経済部長 堆肥になっ



教育総務課長 提案の「鳥取方式」については、新たな取り組みとして、情報を積極的に取り寄せ、芝生化として適正であるか、検証していきたいと考えます。

「鳥取方式」適切か 積極的に検証

問 小学校、保育園の校庭・園庭の芝生化については、低コストで整備から維持管理までできる「鳥取方式」がありますが、この方式の導入の考えについて伺います。

校庭・園庭の芝生化



井出 一己議員

問 女性特有のがん検診に対する支援事業で、子宮頸がん乳がん検診の無料クーポン券が発行されます。これを機会に受診率向上と新たな取り組みについて伺います。

がん検診の受診率向上

早期発見が大切 新たな取り組み検討

健康長寿課長 平成23年までに、受診率50%の目標



標値に近づけるよう取り組みていきます。9月のがん征圧月間に町民を対象にした健康講座を行い、がん予防をテーマとした講座を引き続き行っていきます。乳がんについては、ピンクリボン運動等で、早期発見、早期診断、早期治療の大切さを深める運動と連携して検討してみたいと思います。他の質問事項なし

新総合計画 保健センターと図書館の位置づけ



小島総一郎議員

問 新総合計画における図書館と保健センターの位置付けについて伺います。

優先度考慮し 今後慎重に検討

町長 新たな町立図書館の建設の必要性は十分認識しています。今後、多くの課題の中から優先度を考慮しながら慎重に検討します。保健センターの建設は、なるべく早い時期に、総合的に検討し方向性を見出ししていきたいと考えています。



現在の保健センター

愛川北部病院 町民のメリットは

問 愛川北部病院の誘致には、多額の町税が投入されたわけですが、町民のメリットについて伺います。

総合病院の誘致が最大のメリット

町長 愛川北部病院は、町民皆さんがその地域で

安心して暮らす上で欠くことのできない施設の一つであり、150床の入院ベッドを持つ救急指定病院とそれに付随する14診療科目を持つクリニックを有する総合的病院の誘致が町民皆さんの最大のメリットであると考えています。他の質問事項なし

町長 定年退職者の雇用の考え方については、定年退職後の職員の豊富な知識や経験を活用していくための仕組みを整備していくことは、時代の要請でもあり、貴重な人材であることから、適職ポストなどの条件設定について検討したいと考えています。

適職ポストなど 条件を検討

問 本町職員の定年退職後の再雇用について伺います。

定年退職者 雇用の考え



熊澤 俊治議員



朝・夕の混雑が激しい高田橋際交差点

町長 本路線の渋滞緩和対策は、県においても、経済活動や物流の効率化

早期の事業着手を 引き続き県へ要望

と考えています。他の質問事項なし

問 高田橋を起点とした交通渋滞における県道太井上依知線の渋滞緩和策について伺います。

県道太井上依知線 渋滞の緩和策

及び沿道の住民の利便性の向上には不可欠であると認識しています。町においても、本路線の渋滞緩和対策は、重要なことと認識をしていることから、早期の事業着手について、今後とも引き続き県に要望をしていきたいと考えています。

平成20年度 政務調査費収支報告

政務調査費は、地方自治法や町議会政務調査費の交付に関する条例の規定により、議員の調査研究に必要な経費の一部として各会派に交付されるもので、交付額は、所属議員1人当たり月額1万円です。各会派からの平成20年度分の政務調査費交付金の収支報告は、次のとおりです。

(単位：円)

会 派 名 (所属議員数)	あいかわクラス (6人)	愛政クラス (4人)	あすか (2人)	共産党 (2人)	民主みらい (2人)	公明党 (2人)
交 付 額	720,000	480,000	240,000	240,000	240,000	240,000
支 出 額	702,233	430,966	245,309	244,995	282,919	241,311
残額 (返還額)	17,767	49,034	0	0	0	0

総括質疑

ここが聞きたい! そこが知りたい!

鳥羽 清議員(愛政クラス)

Q 平成21年度公共下水道整備工事の落札率と最低入札額及び最高入札額について

A 落札率については、予定価格が9千371万円であり、入札金額は9千300万円であることから99・24%です。

最低入札額については、9千300万円、最高入札額は1億150万円です。

Q 平成21年度町営原白住宅代替工事(第一期)(建築)の落札率と最低入札額、最高入札額について

A 落札率については、予定価格が8千346万円であり、入札金額は8千300万円であることから99・44%です。

最低入札額については、8千300万円、最高入札額は9千100万円です。

成瀬 和治議員(あいかわクラス)

Q 公共下水道整備工事における開削工事と推進工事の比較検討について

A 今回、工事区間の下水道を布設する深さは3・6メートルから5・9メートルであり、さらにボーリングの調査によると、玉石交じりの砂れき層となつています。

また、今回の工事区間は道路が狭く、迂回路がない行き止まりとなつており、工場や家屋、ブロッ

ク塀が近接しているので、壊す危険性があることから、安全に施工できる推進工事を設定したものです。

Q 今回の公共下水道整備工事に伴い、迂回路のない付近住民の出入り口及び駐車場の検討について

A 推進工事の施工中も立て坑の上に鋼板を敷いて一般車両の片側交互通行ができるよう配慮して

いきます。

また、自宅からの出入りができない車両については、隣接地を借用し、工事期間中の仮駐車場としてご使用いただくよう考えています。

その他の主な質疑事項

- ①緊急雇用創出事業補助一般会計補正予算金の配分について
- ②緊急雇用創出事業の雇用人数について
- ③雇用創出への取り組みについて
- ④社会教育総務費補助対象事業の決め方について
- ①町営住宅の障がい者向け住宅と高齢者向け住宅の整備戸数と入居率について
- ②今後の町営住宅政策について

視察来庁

本町の議会運営等について、次のとおり視察がありました。

7月6日(月)

埼玉県入間郡三芳町議会

議会運営委員会

- 視察内容
- ・議会の組織について
- ・議会活性化への取組みについて
- ・議会運営委員会について
- ・一般質問について

- ・政務調査費について
- ・意見書取扱いについて

7月15日(水)

愛媛県伊予郡砥部町議会

議会運営委員会

視察内容

- ・議会運営について
- ・一問一答方式について

7月28日(火)

群馬県邑楽郡千代田町議会

議会運営委員会

視察内容

- ・議会運営について
- ・議会活性化の取組みについて



愛媛県砥部町議会の視察

町民の声

「有機野菜づくりを始めて」



石井 重行 さん

(春日台在住)

愛川住民となつて35年の私は、昨年9月に退職し、何かやろうと思つていたら、「安全な食を考へる会」に誘われました。畑は一度もやった事がないので出来るか不安でしたが、思い切つてやることにしました。指導者がいるので、分からないところは教えてくれます。有機栽培での野菜づくりを一から教わりました。最初は畝作り、

堆肥・肥料のやり方、種の蒔き方など教わり、ホウレンソウを2畝植えてみました。収穫してみると甘味があり、柔らかく、これが有機栽培かと思ひました。二ヶ月に一度は野菜づくりの勉強会があります。昨年11月には、津久井大豆を収穫し、豆腐の試食会を行いました。また、味噌も作りました。これを機に、大豆を多

く作り、味噌・豆腐づくりをするための会の名前を「愛豆会」にし、今年も20人で作付けをしました。この美味しい豆腐などをゆくゆくは、学校給食にも供給していくのが私たちの夢です。



編集後記

議会だより編集委員会では、紙面改革の一つとして、今回の第122号から紙面の文字を拡大しました。

今後も読みやすい紙面づくりに努力してまいります。

さて、次回の9月定例会は20年度決算を審議する重要な議会です。ぜひ、傍聴においでください。

傍聴のお知らせ

9月定例会は下表のとおりです。本会議はいずれも午前9時から開会されます。

また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会は、8月20日(木)に

平成21年第3回定例会日程(予定)

月	日	曜	会 議 名
9	1	火	本会議 (提出議案の説明)
	3	木	本会議 (一般質問)
	4	金	本会議 (一般質問)
	8	火	本会議 (総括質疑)
	10	木	総務建設常任委員会
	11	金	教育民生常任委員会
	15	火	総務建設常任委員会
	16	水	教育民生常任委員会
	24	木	本会議(委員長報告・討論・採決)
	25	金	予備日

開催予定です。陳情・請願の締切日は8月13日(木)になります。日程が変更になる場合があります。開催予定です。陳情・請願の締切日は8月13日(木)になります。日程が変更になる場合があります。

ご覧ください 会議録

議会だよりは、紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。詳しくは、下記の町公共施設に備え付けてある「会議録」をご覧ください。なお、6月定例会の会議録は、9月中には備え付けができる予定です。

会議録設置施設

- 半原出張所
- 中津出張所
- 役場本庁窓口
- 福祉センター
- 文化会館図書館
- 農村環境改善センター
- 半原公民館
- 中津公民館

- 議会だより編集委員会
- 委員長 馬場 司
 - 副委員長 近藤 幸子
 - 委員 渡辺 基
 - 委員 熊坂 弘久
 - 委員 井出 一己
 - 委員 成瀬 和治
 - 委員 小島総一郎
 - 委員 鳥羽 清
 - 委員 小林 敬子